

## 三宅島

### 概況（平成14年 9 月）

16日に小規模な噴火が発生し、島内で微量の降灰を確認しました。山頂直下の地震活動は低い状態で、振幅の小さな火山性微動が発生しましたが、火山活動に大きな変化はありませんでした。三宅島の収縮を示す地殻変動は、長期的には鈍化傾向にあります。

火山活動は全体として低下傾向にありますが、今後も小規模な噴火は発生する可能性があります。

山頂火口からの二酸化硫黄の放出量は、長期的には減少傾向にありますが、依然として高い値です。風下では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも引き続き注意が必要です。

表 1 火山情報発表状況

火山情報名	発表日時	概要
火山観測情報第 487 号 (1日 2 回発表)	1日 09:30	噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想
火山観測情報第 546 号	30 日 16:30	第 518 号は小規模噴火の状況 第 539 号は微動の一時的な増加の状況

### 火山ガス噴出活動及び火口内の温度の状況

8月に実施した二酸化硫黄の放出量と火口内最高温度の観測結果は次のとおりです。（表 2、図 1 - ）

表 2 二酸化硫黄の放出量と火口内最高温度の観測結果

観測実施日	二酸化硫黄放出量(日量)	火口内最高温度	協力機関
9月4日	4,900トン 400トン	150 以上	東京消防庁
9月25日	-	341	警視庁

### 噴煙活動の状況

16日明け方、島の南西部でごく少量の降灰が確認されました。噴煙の状況は雲のため不明でしたが、遠望カメラに降灰が付着したのが確認されました。小規模な噴火の発生は、本年 8 月 1 日以来です。

白色の噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口上 1,500m（4日）でした。（図 1 - ）

### 地震活動の状況 山頂直下の地震活動は低い状態でした。

27日04時頃から08時頃に、一時的に微動が多くなりましたが、その他の観測データに特段の異常な変化は見られず、その後収まりました。その他にも微動回数が時折やや多い状態となり、中には振幅の小さい空振を伴うものもありました。（表 3、図 1 - ~ ）

### 地殻変動の状況

GPSによる地殻変動観測によると、三宅島の収縮を示す地殻変動は、長期的には鈍化傾向にあります。（図 2）

表3 火山性地震・微動日別回数表(三宅島)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	4	5	3	3	2	1	3	3	2	3	29	
低周波地震	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4	7	
微動	0	0	3	0	0	20	0	0	1	2	26	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	1	1	1	1	4	1	2	0	3	3	17	
低周波地震	0	4	0	0	10	0	0	0	1	0	15	
微動	4	1	0	0	8	1	0	1	1	0	16	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	0	2	0	1	1	2	1	2	1	1	11	57
低周波地震	1	3	0	0	0	0	0	2	0	1	7	29
微動	0	0	0	3	3	0	94	15	10	1	126	168



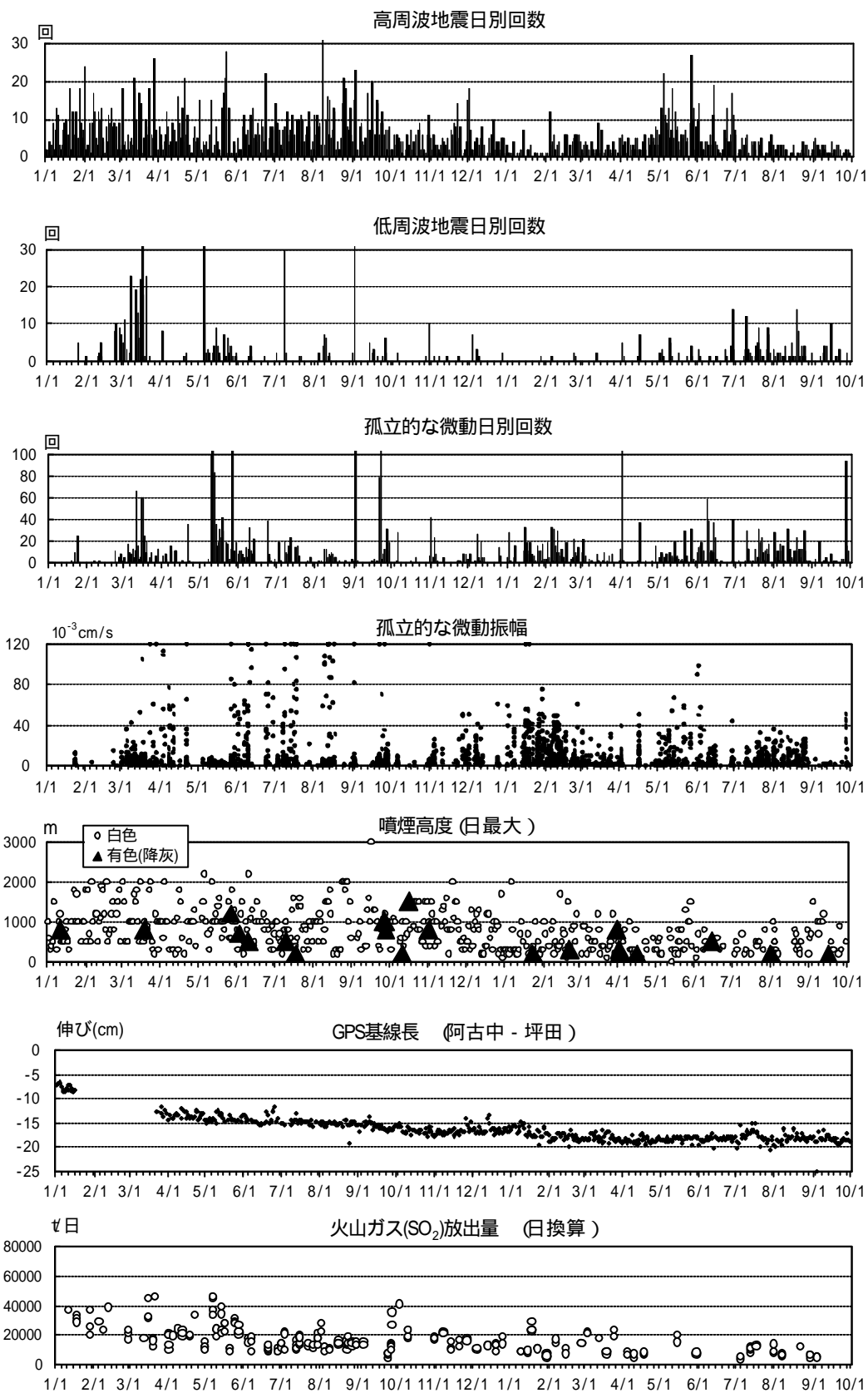
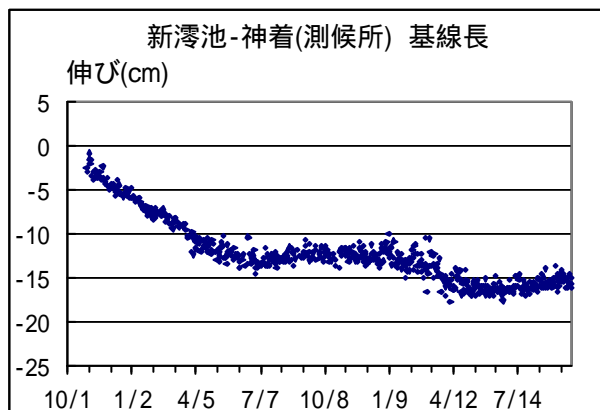
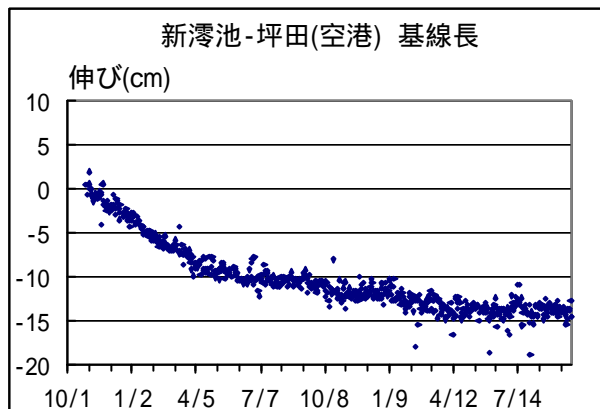
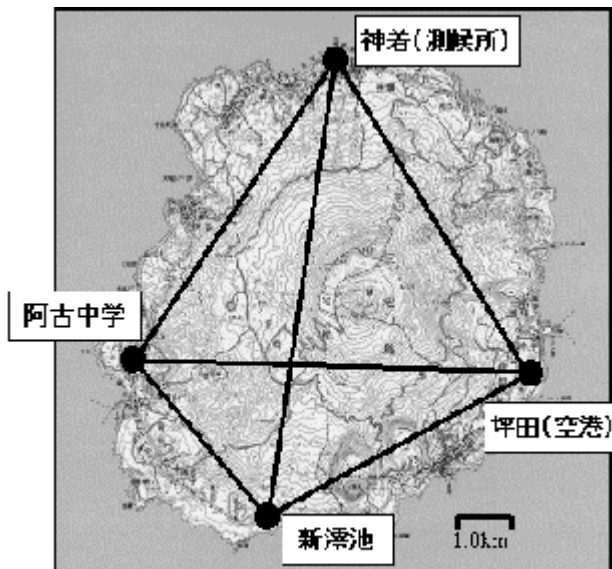
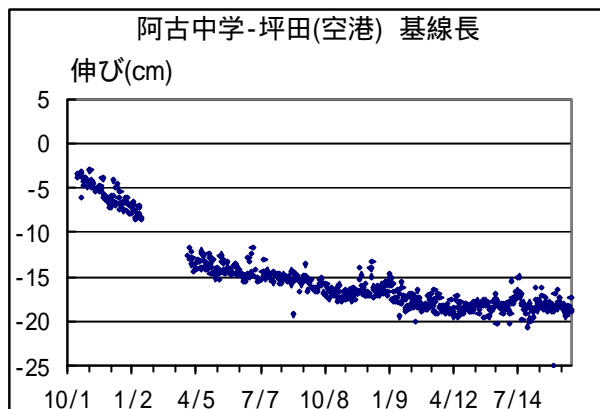
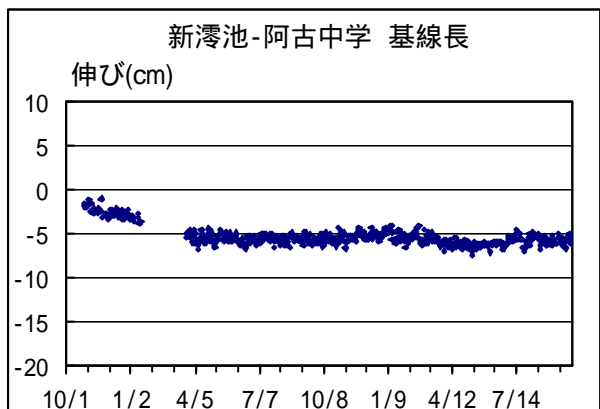
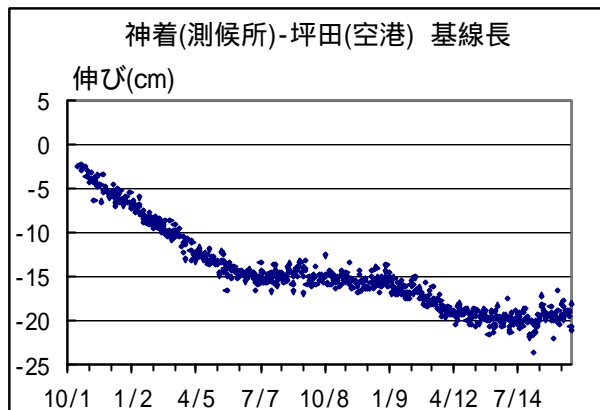
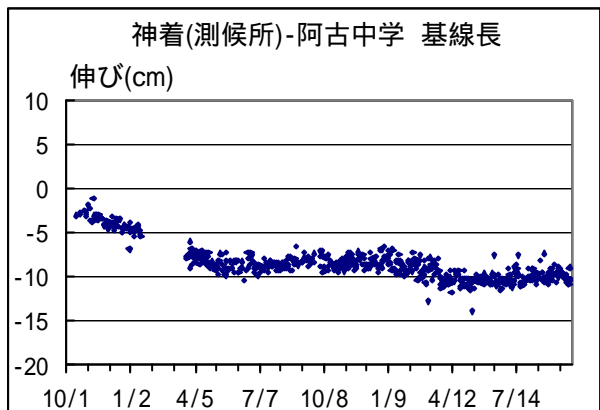


図1 三宅島火山活動経過図(2001年1月1日~2002年9月30日)



基線長の変化には季節的な変動が含まれている可能性がある。  
 2002年1月以降に見られる収縮傾向の加速的变化は火山活動の変化によるものではないと考えている。

図2 三宅島GPS (オンライン)観測結果 (2000年10月1日~2002年9月30日)